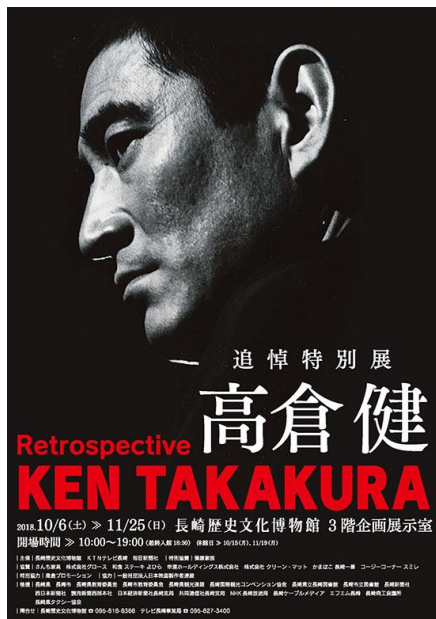


「追悼特別展 高倉健」

「梅屋庄吉生誕150周年・明治150年記念企画展 映画界の風雲児 梅屋庄吉」 開会式・内覧会のご案内

長崎歴史文化博物館では、2018年10月6日(土)～11月25日(日)まで「追悼特別展 高倉健」と「梅屋庄吉生誕150周年・明治150年記念企画展 映画界の風雲児 梅屋庄吉」を同時開催いたします。これに先がけ、開会式と内覧会を開催いたしますので、ぜひご取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。



プレス内覧会

- 日 時：**2018年10月5日(金) 11:00～**
- 会 場：3階企画展示室

※プレス内覧会の取材は直接3階にお越しください。

※「追悼特別展 高倉健」「映画界の風雲児 梅屋庄吉」、両展を続けてご案内いたします。

開会式

- 日 時：**2018年10月5日(金) 13:00～(12:30受付)**
- 会 場：1階ホール



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

〒850-0007 長崎市立山1-1-1
TEL:095-818-8366 FAX:095-818-8407
担当 経営管理グループ 広報担当 前田・大石

☆れきぶんメールマガジン 登録無料！ 最新情報をお届けします。
詳しくは右のQRコード または <http://www.rekimaga.info/> まで！



追悼特別展 高倉健

〈展覧会概要〉

半世紀以上にわたって活躍した日本を代表する映画俳優、高倉健。出演した多くの映画によって文化勲章を受章するなど、高い評価を受けるだけでなく、さまざまな世代に熱く支持され、その姿は人々の記憶の中に深く刻み込まれています。本企画展では不世出の映画俳優である高倉健の出演映画を中心に、その仕事と生涯を浮き彫りにします。高倉健が残した出演映画などに関連する膨大な資料は昭和から平成にかけての日本映画史を語る上で大変、貴重なものです。これらを厳選し、多くの写真や映像、資料などを交え、構成されています。任侠映画のスターとして活躍した時代から、日本を代表する映画スターとして多くの崇敬を集めた晩年にいたるまで、それぞれの映画が上映された時代背景とともに、映画俳優・高倉健の実像に迫ります。さらに「長崎と高倉健」という長崎展の特別コーナーも製作し、長崎で撮影された遺作「あなたへ」のエピソードなどを紹介します。

横尾忠則による インスタレーション



フィルモグラフィ

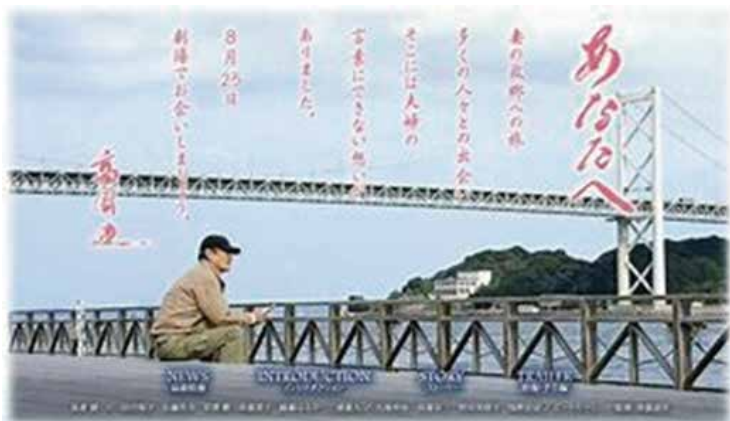
高倉健の全出演映画のデータ、および全ポスター(複写有)を展示。映画俳優としての足跡をたどります。

全出演映画の映像紹介

高倉健の全出演映画を上映。部屋中に設置された20のテレビモニターやプロジェクターに205本の出演作の抜粋映像が上映されます。



代表作の資料展示



長崎と高倉健

2012年(平成24年)8月25日に公開された映画「あなたへ」。高倉健205本目となる映画で、平戸でもロケが行われました。遺作となった本作品の平戸ロケに関するエピソードや資料を展示します。

関連イベント

コラボ企画 長崎セントラル劇場にて高倉健出演7作品を上映！

作品	期間	上映時間	入場料金
網走番外地 人生劇場 飛車角と吉良常	10/6(土)～11(木) ※2本同時上映	10:00～	1,000円

作品	期間	上映時間	入場料金※1
「遥かなる山の呼び声」	10/12(金)～18(木)	11:00～	1,300円
「日本侠客伝 花と龍」	10/19(金)～25(木)	10:00～	
「ホタル」	10/26(金)～11/1(木)	10:00～	シニア料金※2 (60歳以上)
「ゴルゴ13」	11/2(金)～8(木)	10:00～	1,100円
「冬の華」	11/9(金)～15(木)	10:00～	

※1 高倉健展の半券提示で1,100円、
博物館で映画の半券提示で
高倉健展が前売り料金
※2 高倉健展の半券提示での割引不可

長崎セントラル劇場
長崎県長崎市万屋町5-9
TEL:095-823-0900

講演会

高倉健と藤純子の任侠映画と純愛：義理と人情の美学

日時：10月13日(土) 14:00～16:00 会場：1Fホール 定員：140名 ※聴講無料・先着順
講師：山本哲士氏(文化科学高等研究員 ジェネラル・ディレクター)

「追悼特別展 高倉健」

会 期／2018年10月6日(土)～11月25日(日) ※休館日 10月15日(月)・11月19日(月)

会 場／長崎歴史文化博物館3階企画展示室(長崎市立山1丁目1-1)

開館時間／10:00～19:00(最終入場は30分前)

観 覧 料／一般：当日1,200円(前売1,000円) 高大生：当日600円(前売500円) 小中生：当日400円(前売300円)

前売販売所／浜屋プレイガイド・S東美プレイガイド・紀伊國屋書店長崎店(ゆめタウン夢彩都)・メトロ書店本店(アミュプラザ長崎)
チケットぴあ(Pコード 991-882)・ローソンチケット(Lコード 83317)・セブンチケット・イープラス・KTN事業局

主 催／長崎歴史文化博物館、KTNテレビ長崎、毎日新聞社

特別協賛／健康家族

協 賛／さんち家具、株式会社グロース、和食 ステーキよひら、幸運ホールディングス株式会社
株式会社クリーン・マット、かまぼこ長崎一番、コージーコーナー スミレ

特別協力／高倉プロモーション

協 力／一般社団法人日本映画製作者連盟

後 援／長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、
長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、日本経済新聞社長崎支局、
共同通信社長崎支局、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会

梅屋庄吉生誕 150 周年・明治 150 年記念企画展 映画界の風雲児 梅屋庄吉

〈展覧会概要〉

明治・大正・昭和と激動の時代を駆け抜けた長崎出身の実業家、梅屋庄吉(1868～1934年)。彼が生まれた当時の日本は、西洋から近代化の波が一举に押し寄せてきた時代でもありました。この頃、新たなメディアとして登場したのが映画です。映画は、新たな時代の幕開けを象徴する存在として世界で確固たる地位を築いていきます。

日本でも1897年(明治30)、初めて日本人の手で映画撮影が行われるなど、急速に根を下ろしていきます。アジア各地でビジネスをしていた梅屋は、香港で写真館を経営し、シンガポールで映画ビジネスにも着手し大成功を収めて帰国します。帰国翌年の1906年(明治39)には映画会社「Mパター商会」を立ち上げ、草創期の日本映画界を牽引する存在として活動し、現在の映画会社「日活」の前身、「日本活動写真株式会社」の創立にも大きな役割を果たしました。

本企画展では、梅屋庄吉生誕150周年を記念し、梅屋が映画人として果たした役割を紹介します。世界と日本の行く末を見据え、様々な挑戦をした映画人・梅屋庄吉の情熱と功績は、映画会社経営者という表現だけではとても語り尽くせません。その熱き想いは、彼が生涯にわたり孫文の革命活動を支援し続けたことともつながります。本企画展を通して映画人としての梅屋庄吉の新たな一面を感じ取っていただければ幸いです。

第1章：映画の誕生



幻燈機
長崎歴史文化博物館蔵



『活動写真界』
(国立映画アーカイブ蔵)

第2章：映画との出会い



イギリス製カメラ(1895年)
長崎歴史文化博物館蔵

第3章 映画界の風雲児、梅屋庄吉



Mパター商会の映画が上映された浅草六区にあった常設館「大勝館」
浅草大勝館絵葉書(個人蔵)



Mパター商会によって製作されたドキュメンタリー映画
「日本南極探検」のデジタル復元版(国立映画アーカイブ蔵)

第4章

映画界の風雲児、 梅屋庄吉



日活創立の記念写真(1912)
小坂文乃氏蔵

関連イベント

記念講演会

プロデューサー梅屋庄吉が観ていたもの

日時:10月6日(土) 13:30~15:00 場所:1Fホール 講師:小坂文乃氏(梅屋庄吉曾孫) ※聴講無料

講演会

映画起業家としての梅屋庄吉

日時:11月17日(土) 13:30~17:00 場所:1Fホール ※聴講無料

◎「梅屋庄吉、映画に挑む—斬新と、革新と、野望と、—」 講師:本地陽彦氏(日本映画史研究家)

◎「梅屋庄吉と『日本南極探検』—受け継がれる映画遺産」 講師:大傍正規氏(国立映画アーカイブ主任研究員)

イベント

活弁ってな〜んだ?

日時:11月10日(土) 場所:1Fホール

レクチャー&ワークショップ 10:00~12:00 ※参加無料

◎レクチャー「映画史の中の活弁史」 ◎ワークショップ「活弁って楽しい!を体験しよう」

講師:弁士・麻生子八咫

無声映画上映会 13:30~15:30

「国定忠次」(弁士:麻生子八咫) / 「チャップリンの霊泉」(弁士:麻生子八咫) / 「坂本龍馬」(弁士:麻生子八咫)

参加費:一般1,800円(前売1,500円) 高校生以下 700円(前売 500円)

梅屋庄吉生誕150周年・明治150年記念企画展「映画界の風雲児 梅屋庄吉」

会 期 / 2018年10月6日(土)~11月25日(日) ※休館日 10月15日(月)・11月19日(月)

会 場 / 長崎歴史文化博物館 3階企画展示室(長崎市立山1丁目1-1)

開館時間 / 10:00~19:00(最終入場は30分前)

観 覧 料 / 無料

主 催 / 「映画界の風雲児 梅屋庄吉」展実行委員会(長崎歴史文化博物館・長崎県・長崎市)

特別協力 / 小坂文乃

後 援 / 中華人民共和国駐長崎総領事館、中国東方航空長崎支店、長崎県日中親善協議会、長崎華僑総会、長崎福建会館、長崎新華僑華人協会、長崎日本華僑華人婦人連合会、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社長崎支局、共同通信社長崎支局、KTNテレビ長崎、NIB長崎国際テレビ、NCC長崎文化放送、NBC長崎放送、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会、(一社)長崎県観光連盟、(一社)長崎国際観光コンベンション協会、長崎県映画センター